

日本ウイルス学会杉浦奨励賞受賞者一覧

平成4年度	伊藤正恵（神戸大）	マウス病原性を支配するセンダイウイルス蛋白の同定とその機構の解析
	後藤 敏（名古屋大）	ウイルスの臓器向性を規定する組織プロテアーゼの研究
平成5年度	小池 智（東京都臨床医学総合研）	ポリオウイルスレセプターの分子生物学的研究
	永田恭介（東工大）	インフルエンザウイルスゲノムの転写・複製の分子機構
平成6年度	鶴見達也（名古屋大）	Epstein-Barr ウイルス DNA ポリメラーゼ複合体の生化学的研究
	松田道行（国立予研）	CT10 レトロウイルスの癌遺伝子 v-crk とそのヒト相同遺伝子 CRK の機能解析
平成7年度	松浦善治（国立予研）	C型肝炎ウイルス遺伝子の発現と制御
	柳 雄介（九州大）	麻疹ウイルスの感染および免疫抑制機構に関する研究
平成8年度	受賞者なし	
平成9年度	加藤 篤（東大医科研）	センダイウイルス遺伝子操作系の確立と展開
	鈴木信弘（秋田県立農業短大生物工学研）	イネ委縮ファイトレオウイルス(RDV)ゲノムの構造およびゲノムにコードされた蛋白質の機能
	豊田哲也（久留米大）	インフルエンザウイルス RNA ポリメラーゼの分子解剖
平成10年度	清野 透（愛知県がんセンター研）	「高発がん性」ヒトパピローマウイルス E6 による発がん機構の研究
平成11年度	北村義浩（国立感染研）	レトロウイルスの組み込み酵素に関する研究
平成12年度	小原恭子（東大医科研）	C型肝炎ウイルスの病原性発現機序の解析
平成13年度	川口 寧（東医歯大難治研）	ヘルペスウイルス遺伝子発現制御因子の機能発現機構の解明
平成14年度	片野晴隆（国立感染研）	ヒトヘルペスウイルス8の感染病理学的研究
	朝長啓造（阪大微研）	ボルナ病ウイルスの持続感染と病態機序に関する研究
平成15年度	五藤秀男（東大医科研）	A型インフルエンザウイルスノイラミニターゼの新規機能に関する研究
平成16年度	櫻木淳一（阪大微研）	霊長類レンチウイルス粒子内ゲノム二量体化機構の解析
平成17年度	高田礼人 （北大人獣共通感染症リサーチセンター）	エボラウイルス表面糖蛋白質の機能解析
平成18年度	佐々木潤（藤田保健衛生大）	アイチウイルスの複製機構の解析
	下島昌幸（東大医科研）	ネコ免疫不全ウイルスの感染指向性に関する研究
	竹田 誠（九州大）	麻疹ウイルス遺伝子操作系の確立と複製および病原性発現の分子基盤の解析
平成19年度	新矢（田中）恭子（鳥取大）	インフルエンザウイルスの宿主適応機序解明に関する研究
	渡士幸一（京大ウイルス研）	ケミカルバイオロジーを利用したC型肝炎ウイルス細胞内動態の解析
平成20年度	大岡静衣（東大）	ポリオウイルスの体内伝播機構解析
	野田岳志（東大医科研）	ウイルス粒子形成機構の電子顕微鏡解析
平成21年度	入江 崇（広島大）	エンベロープウイルスの粒子形成・出芽機構の解析
平成22年度	谷 英樹（阪大微研）	ウイルスベクターの開発とウイルスの感染機構解析への応用
	松山州徳（国立感染研）	コロナウイルス細胞侵入機構の解明
平成23年度	阿部隆之（阪大微研）	ウイルス感染による宿主自然免疫応答の解析と感染制御への応用
	佐藤賢文（京大ウイルス研）	HTLV-1 bZIP Factor 遺伝子による HTLV-1 病原性発現機構の解析
	西村順裕（国立感染研）	エンテロウイルス71の感染機構に関する研究
平成24年度	有田峰太郎（国立感染研）	抗エンテロウイルス化合物群の探索とそのウイルス感染阻害機構の解析
	河本聡志（藤田保健衛生大）	ロタウイルス遺伝子操作系の開発とそれを用いた外殻スパイク蛋白質 VP4 の解析

日本ウイルス学会杉浦奨励賞受賞者一覧

平成 25 年度	村田貴之（愛知県がんセンター研）	EB ウイルス潜伏感染と再活性化の制御機構
	米田美佐子（東大医科研）	パラミクソウイルスの病原性発現機序とワクチン開発の研究
平成 26 年度	一戸猛志（東大医科研）	インフルエンザウイルス認識機構とワクチン開発に関する研究
	鈴木忠樹（国立感染研）	JC ウイルスのチャネルタンパク質ピロポリンに関する研究
	本田知之（京大ウイルス研）	ポルナ病ウイルスの神経病原性に関する研究
平成 27 年度	加藤哲久（東大医科研）	単純ヘルペスウイルス1型 Us3 プロテインキナーゼによる病態発現機構の解明
	佐藤 佳（京大ウイルス研）	ヒト化マウスモデルを用いたウイルス感染病態の解明
	高橋忠伸（静岡県立大）	インフルエンザウイルスが結合する糖鎖分子の機能解明
平成 28 年度	岡本 徹（阪大微研）	肝炎ウイルスと相互作用する宿主因子の解析
	川口敦史（筑波大）	インフルエンザウイルスゲノムの細胞内動態を制御する宿主因子の研究
	橋口隆生（九州大）	マイナス鎖 RNA ウイルスの細胞侵入と抗体による中和の研究
平成 29 年度	福原崇介（阪大微研）	C 型肝炎ウイルスの感染指向性に関する研究
	山吉誠也（東大医科研）	RNA ウイルスの増殖過程に寄与する宿主蛋白質の機能解析
	好井健太郎（北海道大）	ダニ媒介性フラビウイルスの病原性発現機序に関する研究
平成 30 年度	有井 潤（東大医科研）	単純ヘルペスウイルスの細胞侵入および粒子形成過程の解明
	石橋和太（農研機構）	植物のウイルス防御機構に関する研究
	MOI MENG LING（長崎大）	デングウイルスに対するワクチン・治療法の開発のための評価系構築とそれを用いた発症メカニズムの解析
令和元年度	浦田秀造（長崎大）	高病原性ウイルスの増殖機構の解明及びその創薬への応用
	佐藤好隆（名古屋大）	Epstein-Barr ウイルス溶解感染における細胞内環境変化に関する研究
	杉田征彦（大阪大）	マイナス鎖 RNA ウイルスの構造に関する研究
令和 2 年度	加藤大志（国立感染研）	ムンプスウイルス増殖に関わる宿主因子の機能解析
	小林進太郎（北大）	ウエストナイルウイルスの脳炎病態の形成機構の解明
	山本浩之（国立感染研）	サル免疫不全ウイルス複製に対する中和抗体の in vivo 防御機序の解析
令和 3 年度	岩崎正治（阪大微研）	マイナス鎖 RNA ウイルスの増殖分子機構の解明とワクチン開発への応用
	佐々木道仁（北大）	動物由来ウイルスの探索および性伏解析
	古瀬祐気（京大）	実地・実験・理論にもとづくウイルス感染症の包括的理解
令和 4 年度	白銀勇太（九大）	RNA ウイルスの病原性・進化・集団内相互作用
	松野啓太（北大）	ダニ媒介性ブニヤウイルスの研究
令和 5 年度	伊東潤平（東大医科研）	データ駆動アプローチによるウイルスの進化および流行原理の解明
	浦木隆太（国立国際医療研究センター）	RNA ウイルスの病原性解析と新規予防法の開発
	松本祐介（鹿児島大）	マイナス鎖 RNA ウイルスのゲノム複製基盤に関する研究
令和 6 年度	石井 洋（国立感染研）	動物モデルを用いたウイルス複製と宿主免疫反応との相互作用の解明およびワクチン開発への応用
	田村友和（北大）	プラス鎖 RNA ウイルスの病原性と組織指向性に関する研究
	渡辺崇広（名古屋大）	多元的手法を用いた Epstein-Barr ウイルスの病原因子の探索と機能解析